

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域の人材発掘・活用事業(24年度事業名:人材発掘・活用事業)		
事業担当	社会教育部 中央公民館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等	社会教育法第22条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
各地域における人材の発掘と登録の推進が図られ、各講座の講師に活用されています。		生涯学習活動の推進のため、地域における人材の発掘・登録とボランティアを育成・活用します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	生涯学習指導者登録者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	250	275	300	300		
	実績	205	190	194			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	生涯学習指導者を活用した事業の開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	520	525	530	530		
	実績	500	514	478			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	③:遅れている						
	遅れている理由	現在の指導者登録制度は市内に限定されず、県内で利用される情報でありハードルが高いため。					
平成24年度の主な取組と成果							
年間を通じて公民館だより等で地域の人材をクローズアップしたり、活用した事業紹介をシリーズ化したり、積極的に講師登録が図れるよう取組みを進めました。また、地域の特性に合わせた伝統文化を継承する事業等の開催により、地域の人材活用のみならず地域産の材料を提供してもらう等学習活動の推進が図れました。							
平成24年度の検証結果	A:成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	団塊の世代を活用していくことが求められていることから、必要性は高いものがあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域の方が講座やサークルで身につけた技能や知識を、地域の方々に伝授していく場として講座を活用するもので、有効であります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域の埋もれた人材を如何に発掘して活用していくことが、市全体の地域力、市民力の向上に役立つもので、妥当であります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティア講師を活用することは、各々が持つ技能や学習成果を広める役割を持ち、人材の育成や活用につながるほか、経費減少等の効率の可能性もあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 なるべく身近な地域で人材を発掘し、活用していけるように、地区公民館における人材登録を進め、指導者の登録数を増やしていくとともに、地区公民館相互に人材が活用できるような地域での活動の場を創出していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用	指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用	指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用	指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	0.34	0.26	0.83	0.83
	再任用 (人)	0.50	0.50	0.03	0.03
人件費 (B)		4,513	3,788	6,755	6,699
フルコスト (A+B)		4,513	3,788	6,755	6,699

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 地区公民館での各種事業への受講者、地域でさまざまな技能を持った人材の発掘と活用について、地区公民館ごとの登録を進めていくことにより、活動しやすい環境を整備し、登録者数の増加を図ります。また、町内福祉村ボランティアとの連携等により「知恵の輪」づくりを進めます。
課長コメント 地域でさまざまな知識や技能等を持っている人を発掘するとともに、人材登録されている人の活用の充実に努め、生涯学習活動や地域活動の推進を図ります。